

令和4年度病害虫発生情報第1号

令和5年3月3日
千葉県農林総合研究センター長

ウスモンミドリカスミカメによるレタスへの加害確認について

1 害虫名：ウスモンミドリカスミカメ

2 学名：*Taylorilygus apicalis*

3 作物名：レタス

4 発生経過

- (1) 令和4年12月上旬に、県南部においてレタスへの害虫の食害と見られる被害が発見され、管轄農業事務所を通じて千葉県農林総合研究センターに診断依頼があった（写真1、2）。
- (2) 被害レタスほ場及びその隣接雑草地並びにレタス出荷作業所で採取したカメムシ成虫各1～10数頭について、同センターが千葉県立中央博物館動物学研究科に同定を依頼したところ、令和4年12月27日に全てウスモンミドリカスミカメと同定された（写真3）。
- (3) さらに、同センター暖地園芸研究所生産環境研究室において、捕獲したウスモンミドリカスミカメ成虫をポットに栽植したレタスとともに飼育して再現試験を行った結果、令和5年2月下旬までに同虫がレタスを食害する状況を現認し（写真4）、一連の食害を同虫によるレタス加害と確認した。

5 形態及び生態等の特徴

(1) 分布

日本国内では、北海道以外に広く分布し、世界の温暖帯～熱帯にも広く分布する。

(2) 寄主植物

主にキク科多年生草本類

(3) 生態及び形態

本種は、キク科雑草に寄生し、成虫になると小ギクやレタス等他の植物（主にキク科）へ移動し、これらを加害すると考えられる。

体長4.5～6mm。体色は淡い黄緑色で、光沢は弱い。著しい色彩変異を持つ。

(4) 被害

加害されたレタス葉では、生育に伴い吸汁痕が穴状やかすり状となる（写真1、2）。

6 防除対策

- (1) 現時点では、レタスの本虫に対する登録農薬は無い。
- (2) レタス出荷時は選別を徹底し、被害株を取り除く。
- (3) 周辺のキク科雑草（セイタカアワダチソウやヨモギ等）は発生源となるので、花をつける前に除草に努める。レタス周辺の開花中のキク科雑草を除草すると、本虫がレタスほ場へ飛来することがあるので、レタス定植後のキク科雑草の除草には注意が必要である。



写真1 レタスへの食害(かすり状)



写真2 レタスへの食害(穴状)



写真3 捕獲した成虫



写真4 再現試験におけるレタスへの食害

※写真は全て千葉県農林総合研究センター原図

- ・ 病害虫発生予察情報はインターネットでもご覧いただけます。
<https://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/nourin/boujo/>
- ・ 薬剤の選定については、最新の農薬登録情報を確認してください。
<https://pesticide.maff.go.jp/>

問い合わせ先

千葉県農林総合研究センター病害虫防除課

〒266-0014 千葉市緑区大金沢町180番地1

TEL 043(291)6077 FAX 043(226)9107

E-mail cafrc-bojo@mz.pref.chiba.lg.jp

